



# 株式会社 越智鋳造所

2024年度 環境経営レポート  
西条工場、大府工場  
対象期間:2024年3月～2025年2月



西条工場



大府工場

発行: 2025年4月25日《第17版》



目次	1
1. 会社概要	2
2. ごあいさつ	3
3. 環境経営方針	3
4. 環境組織図	4
5. 役割・責任・権限	5
6. 中長期環境経営目標	6・7
7. 環境活動計画	8
8. 環境目標の実績	9・10
9. 環境活動取組結果と評価	11・12
10. 環境関連法規制、順守状況	13
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

## □会社概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 越智鋳造所  
代表取締役社長 越智 優

(2) 所在地

西条工場：〒791-0522 愛媛県西条市丹原町田野上方1016  
大府工場：〒474-0023 愛知県大府市大東町三丁目37

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

西条工場責任者 専務 越智 幹展 TEL:0898-68-7305  
全社担当者 事務局 塩崎 哲生

大府工場責任者 常務 越智 豊 TEL:0562-46-1201

(4) 事業内容

鋳物製品の製造・加工及び販売

(5) 事業の規模

2023年度	2024年3月～2025年2月
製品出荷額	1,851百万円
主要製品生産量	4,563t
従業員	88人
事務所床面積	580m <sup>2</sup>
工場床面積	11,734m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 3月～2月

(7) 認証・登録の範囲

西条工場、大府工場の全組織及び全活動

(8) レポートの対象期間

2024年3月～2025年2月

## ごあいさつ

近年、『グローバル』という言葉が世の中で頻繁に使用され、まさに地球は万物が一体となった活動を呈している状況となっております。そのような中で、地球規模の温暖化問題は21世紀における現代社会では避けて通れない大きな課題であります。

当事業所も、この問題を真摯に受け止め、環境負荷の低減を図り全社的なCO2の排出量削減に努めるべく、諸々の取り組みを実践してまいります。これをもって、当事業所に対する社会的評価をいただくことが、その経営基盤の強化に役立ち、ひいては、地域を始とする関係機関とも連携をとり、未来型の工場経営が実現できることを強く望んでおります。

### 環境経営方針書

当事業所は、永続的な人類社会の営みが自然との共生なくしてあり得ないことまた地球資源が有限であることの認識を前提とし、当社が製造・加工、販売する製品およびすべての活動プロセスにおける環境への影響を考慮し、その負荷低減を諸々の取り組みにおいて実践することを誓います。

《環境保全行動指針》

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 具体的に次のことに取り組みます。
  - ① 省エネルギーに努力し、二酸化炭素排出量を削減します
  - ② ムダのないもの作りをし、廃棄物排出量を削減します
  - ③ 節水により水使用量、排水量を削減します
  - ④ 化学物質の排出量を削減します
  - ⑤ 製品・サービスに関して環境配慮に取り組みます

これらについて環境経営目標・活動経営計画を定め、定期的に見直しを行い自主的、積極的に継続的な改善活動に努めます。

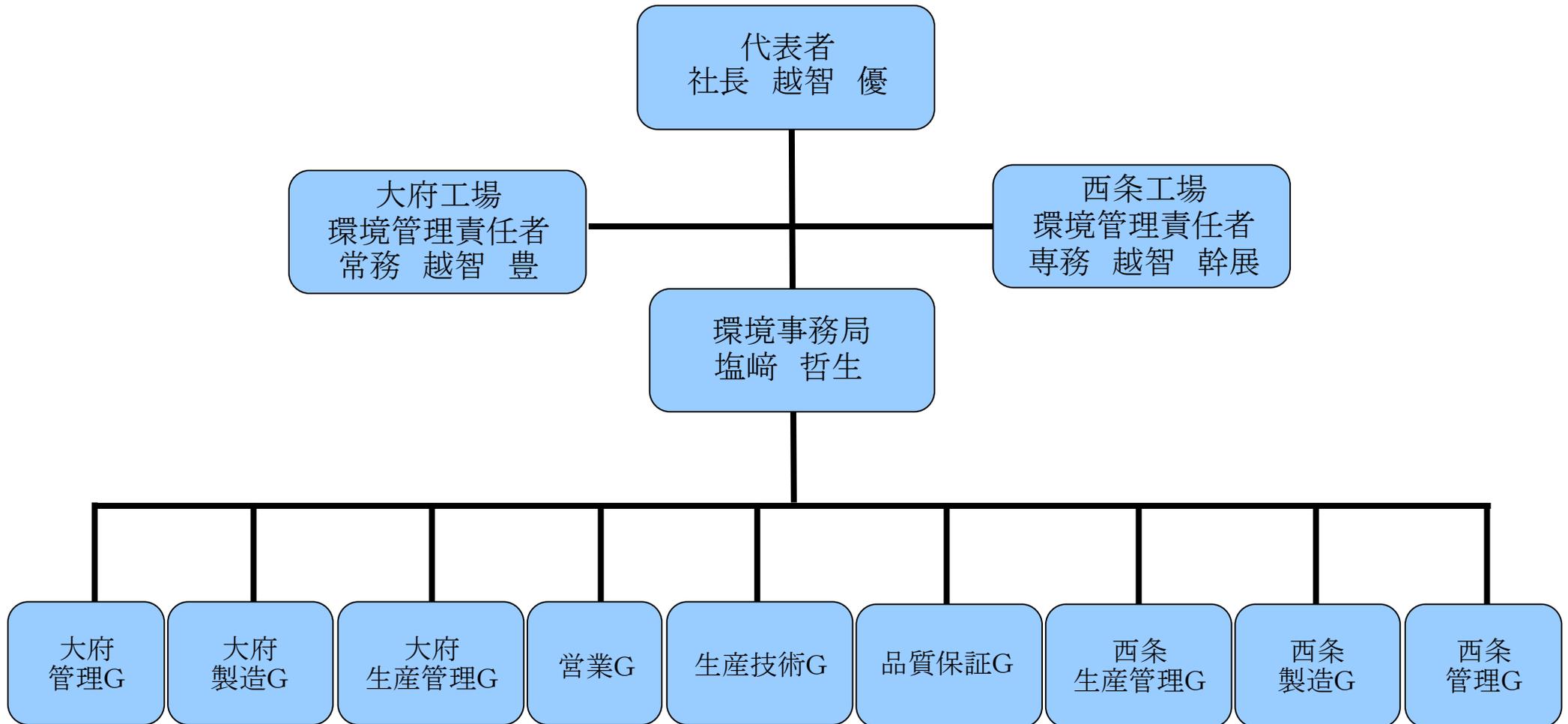
3. この方針を全従業員に周知します。
4. 環境への取り組みを「環境経営レポート」としてとりまとめ公表します。

制定日：2009年4月1日

改訂日：2021年9月1日

代表取締役社長 越智 優

# 環境組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な人・設備・費用・時間・技術者を用意</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標の設定を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>・環境への負荷の自己チェックの承認、環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境活動計画書・環境活動展開計画書を承認</li> <li>・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動取り組み状況の討議・協議・審議</li> <li>・法規制遵守状況チェック</li> <li>・環境関連法規制登録簿等の作成</li> <li>・環境への負荷の自己チェックのデータ集計、作成</li> <li>・環境経営目標・環境活動実施計画書原案の作成</li> <li>・環境活動計画書・環境活動展開計画書の作成、実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営目標及び環境活動計画書の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を理解し継続的な改善活動に努める</li> <li>・取り決め事項を順守し自主的・積極的に環境活動を実施</li> </ul>

□ 西条工場 中長期環境経営目標(単年度含む)

目 標 項 目	区 分	単 位 上段(絶対値) 下段(原単位)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
			3月～2月 実績 (基準値) (注1)	3月～2月 目標-0.5%	3月～2月 目標-1.0%	3月～2月 目標-1.5%
二酸化炭素排出量の削減(注2)		t-CO <sub>2</sub>	3,502	—	—	—
		t-CO <sub>2</sub> /t	0.595	0.592	0.589	0.586
一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減		t	2,163	—	—	—
		t/t	0.368	0.366	0.364	0.362
水使用量の削減		m <sup>3</sup>	13,221	—	—	—
		m <sup>3</sup> /t	2.250	2.239	2.228	2.216
化学物質排出量の削減(注3)		kg	84,138	—	—	—
		kg/t	14.314	14.242	14.171	14.099
製品・サービスに関する環境配慮(注4)		%	7.10	7.00	6.90	6.80

注1) 2023年度(2023年3月～2024年2月)を基準とし、原単位は生産重量(5,878t)を分母としている

注2) 電力のCO<sub>2</sub>換算係数は四国電力(株)調整後排出係数0.411kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2019年)を使用

注3) 化学物質排出量は、実績1T以上のSIC、Mnの数値です

注4) 製品サービスに関する環境配慮基準値2023年マイナス0.1%低減する

□ 大府工場 中長期環境経営目標(単年度含む)

目 標 項 目	区 分	単 位 上段(絶対値) 下段(原単位)	2019年度	2024年度	2025年度	2026年度
			3月～2月 実績 (基準値) (注1)	3月～2月 目標-4.0%	3月～2月 目標-4.5%	3月～2月 目標-5.0%
二酸化炭素排出量の削減(注2)		kg-CO2	446,438	—	—	—
		kg-CO2/h	7.882	7.567	7.527	7.488
一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減(注3)		kg	880	—	—	—
		kg/h	0.0155	0.0149	0.0148	0.0147
水使用量の削減(注4)		m <sup>3</sup>	4,445	—	—	—
		m <sup>3</sup> /延べ人	5.6987	5.4708	5.4423	5.4138
製品・サービスに関する環境配慮(注5)		%	7.10	7.00	6.90	6.80

注1) 2019年度(2019年3月～2020年2月)を基準とし、原単位は労働時間(56, 637h)を分母としている

注2) 電力のCO2換算係数は中部電力(株)調整後排出係数0.426kg-CO2/kWh(2019年)を使用

注3) 一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック)を管理している

注4) 2019年度(2019年3月～2020年2月)を基準とし、原単位は延べ従業員数(780人)を分母としている  
敷地内に寮のある実習生は×5人で計算

注5) 製品サービスに関する環境配慮基準値2023年マイナス0.1%低減する

注6) 化学物質の使用はありません。

□ 環境活動計画

項目	活動内容
二酸化炭素排出量の削減	①電力のデマンドコントロール ②生産ラインの稼働率向上(時間当りの出来高増加) ③空調機の適温化(温度・風量など一括集中管理) ④昼光の利用での照明OFF ⑤照明機器のLED化(天井水銀灯、レフランプ順次) ⑥鋳型乾燥炉の稼働率向上 ⑦加工ミスによるロス低減 ⑧不使用時、終業時元バルブ閉めの徹底 ⑨アイドルストップの徹底(外注業者含む) ⑩急発進、急加速の防止 ⑪社用車の使用抑制 ⑫構内速度制限の遵守(外注業者含む)
廃棄物排出量の削減	①裏紙の使用と両面コピー ②電子メディア利用によるペーパーレス化(会議など) ③資材梱包段ボールなどの業者持ち帰り ④社内へのゴミの持ち込み、廃棄禁止 ⑤ゴミの分別の徹底 ⑥生産ラインの稼働率向上 ⑦生産工程歩留り向上 ⑧加工ミスによるロス低減 ⑨工程廃棄物、不良材の抑制 ⑩砥石使用量の低減 ⑪リサイクルの推進 ⑫納入業者のパレット持ち込み見直し
水使用量、排水量の削減	①各手洗い場に『節水』表示取付け ②節水啓発活動、教育 ③給湯室・トイレ・風呂での水使用を必要最少限に抑制 ④節水コマ取りつけ
化学物質排出量の削減	①SDSシートでのリスト作成 ②環境負荷低減製品の調査、テスト ③環境負荷低減製品の購入
製品・サービスに関する環境配慮	①作業手順書の順守 ②設備異常の早期発見、早期対応 ③変化点管理

□西条工場 環境経営目標の実績

目標項目	区分	単位 上段(絶対値) 下段(原単位)	2023年度 3月～2月 実績 (基準値) (注1)	2024年度 3月～2月 目標-0.5%	2024年度 3月～2月 実績値	達成 評価 (注5)	達成 率%
二酸化炭素排出量の削減(注2)	t-CO <sub>2</sub>		3,502	—	2,661	—	
	t-CO <sub>2</sub> /t		0.595	0.592	0.583	○	102
一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減	t		2,163	—	1,660	—	
	t/t		0.368	0.366	0.364	○	101
水使用量の削減	m <sup>3</sup>		13,221	—	10,218	—	
	m <sup>3</sup> /t		2.250	2.239	2.239	○	100
化学物質排出量の削減(注3)	kg		84,138	—	67,884	—	
	kg/t		14.314	14.242	14.877	△	96
製品・サービスに関する環境配慮(注4)	%		7.10	7.00	6.32	○	111

注1) 2023年度(2023年3月～2024年2月)を基準とし、原単位は生産重量(5, 878t)を分母としている  
2024年度実績4, 563t

注2) 電力のCO<sub>2</sub>換算係数は四国電力(株)排出係数0. 411kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2019年)を使用

注3) 化学物質排出量は、実績1T以上のSIC、Mnの数値です

注4) 製品サービスに関する環境配慮基準値2023年マイナス0.1%低減する

注5) 目標達成(100%以上)○、目標未達(あと一步95%以上)△、目標未達(かなり頑張り必要95%未満)×  
達成評価算定式は、目標値/実績値で算出しています

## □大府工場 環境経営目標の実績

区分 目標項目	単位 上段(絶対値) 下段(原単位)	2019年度	2024年度	2024年度	達成 評価 (注4) (注6)	達成 率%
		3月～2月 実績 (基準値) (注1)	3月～2月 目標-4.0%	3月～2月 実績値		
二酸化炭素排出量の削減(注2)	kg-CO2	446,438	—	290,351	—	—
	kg-CO2/h	7.882	7.567	6.853	○	110
一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減(注3)	kg	880	—	537	—	—
	kg/h	0.0155	0.0149	0.0127	○	117
水使用量の削減(注4)	m <sup>3</sup>	4,445	—	5,339	—	—
	m <sup>3</sup> /延べ人	5.6987	5.4708	4.5093	○	121
製品・サービスに関する環境配慮(注5)	%	7.10	7.00	6.32	○	111

注1) 2019年度(2019年3月～2020年2月)を基準とし、原単位は労働時間(56, 637h)を分母としている  
2024年度実績42, 370h

注2) 電力のCO2換算係数は中部電力欄排出係数0.426kg-CO2/kWh(2019年)を使用

注3) 一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラスチック)を管理している

注4) 2019年度(2019年3月～2020年2月)を基準とし、原単位は延べ従業員数(780人)を分母としている  
敷地内に寮のある実習生は×5人で計算  
2024年度実績延べ従業員数1, 184人

注5) 製品サービスに関する環境配慮基準値2023年マイナス0.1%低減する

注6) 目標達成(100%以上)○、目標未達(あと一步95%以上)△、目標未達(かなり頑張り必要95%未満)×  
達成評価算定式は、目標値/実績値で算出しています

注7) 化学物質の使用はありません。

□西条工場 環境活動の取り組み結果と評価、次年度取り組み内容

取り組み項目	・二酸化炭素排出量の削減	評価
達成状況	原単位目標 0.592t-CO2/t 原単位実績 0.583t-CO2/t	○
結果と今後の方向	時間当たり枠数増加、ライン停止時間の低減活動、省エネ取り組み等諸々の改善活動によって、大きなウェイトを占める電力使用量の低減につながった。化石燃料のうち、軽油は最も使用時間長いフォークリフト1台を電動化した。灯油は前年対比原単位で悪化となった。引き続き省エネ活動を推進し二酸化炭素排出量の低減に努める。	

取り組み項目	・一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減	評価
達成状況	原単位目標0.366 t/t 原単位実績0.364 t/t	○
結果と今後の方向	一般廃棄物と産業廃棄物の合計で目標を達成した。最も排出量の多い鉍滓のうち、廃砂はリサイクル便で引き取りをすることで可能な限り循環資源となっている。その他廃棄物についても、リサイクル業者の選定を行い優先的に引き取りを行っていく。	

取り組み項目	・水使用量の削減	評価
達成状況	原単位目標2.239m <sup>3</sup> /t 原単位実績2.239m <sup>3</sup> /t	○
結果と今後の方向	生産終了後の元バルブ締め徹底を周知できたことで、不要な使用が低減出来ている。次年度以降も毎日のメーター読み管理をし漏水や使用量の変化に直ちに気付けるよう努めていく。	

取り組み項目	・化学物質排出量の削減	評価
達成状況	原単位目標14.242kg/t 原単位実績14.877kg/t	△
結果と今後の方向	2023年度よりPRTR法改正。新たに追加となった炭化けい素の使用量排出量が多い。生産時に投入する物質であるため、低減することは難しいが引き続き管理を徹底していく。副資材で使用の有害な化学物質も品質に影響しないかテストし問題無ければ変更していく。	

取り組み項目	・製品、サービスに関する環境配慮	評価
達成状況	不良率目標7.0% 不良率実績6.32%	○
結果と今後の方向	不良を減らすことで、ムダのないモノづくりとなり結果エネルギー使用量や廃棄物排出量の低減にもつながるためスピード感をもって対策を実施していく。	

□大府工場 環境活動の取り組み結果と評価、次年度取り組み内容

取り組み項目	・二酸化炭素排出量の削減	評価
達成状況	原単位目標 7.567kg-CO2/h 原単位実績 6.853kg-CO2/h	○
結果と今後の方向	昨年導入した省エネ型コンプレッサーやLEDライト、省エネ啓蒙活動等が功を奏し、目標を達成することができた。 下期からは受注量の増加が見込まれるため、稼働率向上、不良の低減を図る。更には引き続き従業員教育、省エネ啓蒙活動を推進し、目標を達成する。	

取り組み項目	・一般廃棄、産業廃棄物排出量の削減	評価
達成状況	原単位目標 0.0149kg/h 原単位実績 0.0127kg/h	○
結果と今後の方向	粉塵や剪定くずをまとめて大量に廃棄するのをやめ、処分を平準化。ゴミの分別を徹底し、家庭ゴミの持ち込みを禁止を徹底した。 次年度以降も廃棄物の低減に取り組む。	

取り組み項目	・水使用量の削減	評価
達成状況	原単位目標 5.4708m <sup>3</sup> /延べ人 原単位実績 4.5093m <sup>3</sup> /延べ人	○
結果と今後の方向	日々の工場内パトロールにより、水の無駄使いや漏水箇所を確認する。 引き続き節水の啓蒙活動を行う。	

取り組み項目	・製品、サービスに関する環境配慮	評価
達成状況	不良率目標 7.0% 不良率実績 6.32%	○
結果と今後の方向	不良を減らすことで、ムダのないモノづくりとなり結果エネルギー使用量や廃棄物排出量の低減にもつながるためスピード感をもって対策を実施していく。	

## □環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用する設備・項目等	確認・評価
廃棄物処理法	ダスト、廃砂、ノロ、炉材、木屑、廃プラなど	○
PRTR法	有機溶剤、溶解接種剤、シェルボンド、塗装塗料、シンナーなど	○
省エネ法(地球温暖化対策推進法)	搬送ライン2台、高周波電気炉2炉、集塵機8台、ショットブラスト5台、シェルマシン6台など	○
	集塵機2台、ショットブラスト3台など	○
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	○
フロン排出抑制法	冷媒機器(業務用)、空気圧縮機など	○
消防法	少量危険物貯蔵取扱届、防火管理者選任 消防計画書(消火器、消火栓、非常ベルなど)	○
労働安全衛生法	有機則・特化則・乾燥設備作業主任者選任 作業環境測定、各種健康診断など	○
大気汚染防止法	高周波電気炉、集塵機	○
水質汚濁防止法	最終浄化槽	○
騒音規制法	屋外集塵機、空気圧縮機	○
振動規制法	屋外集塵機、空気圧縮機	○
PCB特別措置法	高圧コンデンサ	○
毒物及び劇物取締法	メタノール	○
浄化槽法	事務所、食堂浄化槽	○

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し、指示

### 『環境経営目標・環境活動計画』

- ・西条工場 基準年(2023年)対比原単位マイナス0.5%での取り組み活動を実施
- ・大府工場 基準年(2019年)対比原単位マイナス4.0%での取り組み活動を実施
- ・製品サービスに関する環境配慮は、両工場基準年(2023年)マイナス0.1%で取組活動を実施

### 『環境関連法規制』

- ・法規に則った対応が出来ている。  
最新の環境関連法規や遵守状況を、1回/月(毎月25日)の確認を実施しており  
報告や提出書類の届出期限内確認も含めた活動が行われており、変更の必要なし。

### 『環境経営方針』

- ・環境経営方針は変更の必要なし

### 『要求事項総括』

- ・要求事項を盛り込む環境組織、環境管理責任者を中心に各自の役割は有効に機能しており  
実施体制の変更の必要はなし。

#### (2024年度の活動結果)

- ・西条工場 基準年度2023年実績マイナス0.5%で活動を行ない、目標設定した5項目中4項目で  
目標達成が出来ている。化学物質の項目については、目標未達となった。
- ・大府工場 基準年度2019年実績マイナス4.0%で活動を行ない、目標設定した4項目中4項目で  
目標達成が出来ている。

#### (2025年度の環境経営目標)

- ・西条工場、基準年を2023年度実績とし2025年度は基準原単位マイナス1.0%で活動する。
- ・大府工場、基準年を2019年度実績とし2025年度は基準原単位マイナス4.5%で活動する。
- ・製品サービスに関する環境配慮は、両工場基準年(2023年)マイナス0.2%で活動する。

2025.4.22

代表取締役社長 越智優